

大田区自立支援協議会だより

編集・発行 大田区自立支援協議会
事務局 大田区福祉部障害福祉課障害者支援担当（計画）
電話 03（5744）1700
ファックス 03（5744）1592

第6号 平成26年7月

「大田区自立支援協議会」は、障がい者及び障がい児の地域における自立した生活を支援するため、相談支援事業をはじめ、地域の障がい福祉の課題について具体的な検討を行うことを目的として区が設置しています。協議会委員は、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者で構成しています。

●平成26年度始動！

大田区自立支援協議会会長 志村陽子

7年目の自立支援協議会では、課題とされている「協議会全体の動きの検討」に積極的に取り組もうと考えています。その検討の場として位置付けた運営会議を積極的に行うこととし、第一回を6月に開催しています。意欲的な委員、専門部会のみ委員のみなさんの協力のもと、今年度一年間をかけ、組織やその役割の見直し、専門部会の運営も含めて、協議会自体がよりその目的に向かい、柔軟かつ効果的に働ける方法を考えていきます。

また、今年度の役割として「障がい者総合サポートセンター」について、「大田区発達障がい児・者支援計画」の実施状況の点検・評価について、「大田区障害者計画・第4期障害福祉計画」策定についても取り組んでいきます。中でも計画策定については、策定委員会へ委員として各専門部会から7名が参加し、27年度から3年間の重要な計画について、より障害者のニーズに応じた計画となるよう協議会全体として集中して取り組みたいと考えています。

今年度終盤によいよオープンとなる総合サポートセンターに関しては、いよいよ具体的な検討となってきました。関わるみなさんの思いがかなうよう、協議会として積極的に関わっていきます。

ここまで6年間、試行錯誤を繰り返しつつ歩んできた協議会が、次のステップへ向かう契機となる一年だと捉えています。関わるみなさんのご協力のもと、集中して取り組んでいきます。

●自立支援協議会の転換期

障害福祉課長（障害者施設計画担当課長兼務）内藤禎一

（仮称）障がい者総合サポートセンターについては、大田区議会第二回定例会において設置条例が議決されました。「（仮称）」が外れ、「障がい者総合サポートセンター」を正式名称としています。現在、相談支援部門の先行実施や愛称の公募等、平成27年3月の開設に向け、具体的な準備を進めているところです。

自立支援協議会にとって平成26年度は、このサポートセンターとの協働関係の構築や新たな課題への取り組み等、新しい自立支援協議会へのステップアップの年であると考えております。就労支援部会がすべての障がい者を対象とした就労支援についての検討を始める等、その息吹も感じております。

一方、今年度は、障害者計画と障害福祉計画の2つの計画を一体的に策定する重要な年でもあります。区の障がい福祉施策をより良いものとするために、委員の皆様には、様々な視点からのご意見を頂戴できればと期待しているところです。よろしくお願い致します。

平成26年度 専門部会活動紹介

相談支援部会

今年度の相談支援部会は、個別事例の検討による地域課題の抽出を続けながら、本人中心のケアマネジメントを軸とした基本相談・計画相談・一般相談(地域移行)からなる重層的な相談支援体制の整備に向けての話し合いにも注力する、という方針で活動していきます。相談支援体制は、実は地域の障がいのある方への支援の軸であり、核になるものである事が個別支援会議における検討で明らかになってきました。この自覚の上に立って、『官民協同』で作業を進めていければと考えています。

防災部会

防災部会では、今年度も総合防災訓練等への参加を積極的に取り組み、障がい当事者にとっての自助・共助につながるよう、地域の方々や関係機関との理解・連携に努めていきます。また、区全域が防災活動拠点となるよう学校避難所のあり方、福祉避難所の役割を当部会からも提案、発信していけるよう検討していきます。昨年度に引き続き、「あなたの支援が必要です」を伝えるためのヘルプカード(たすけてねカード)の広報、啓発活動に努めていきます。

就労支援部会

4年間行ってきた「精神障害者の就労支援部会」は、今年4月より全ての障がいを対象とした「就労支援部会」に生まれ変わりました。今年度末に、障がい者総合サポートセンター内に「新しい障害者就労支援センター」がオープンします。「就労支援部会」は、この「新しい就労支援センター」と連携し、また多くの関係機関とネットワークを構築しながら、障がいのある方の就労を応援していきます。具体的には、

- 1、部会に参加している機関の機能と役割を理解し、各機関のかかえている就労支援の課題を整理します。
- 2、新しい就労支援センターに対して、必要な機能や連携の方法などの具体的な提案をしていきます。
- 3、障害者計画・障害福祉計画について、これまでの評価と次期の計画に対しての提案を行っていきます。

地域資源評価開発部会

地域資源評価開発部会では、「社会資源の改善及び開発」という視点で話し合いを進めています。今年度は、主に下記の3点について議論していくことを確認しました。

【移動支援事業について】は、昨年、課題点を抽出しカテゴリーごとに分類したものを、さらに論点整理を行い、課題解決に向けた話し合いを進めていきます。

【障がい者総合サポートセンター 地域交流支援部門について】は、『ここに来れば何でも分かる』センターとしての存在、役割などを発信する拠点である「地域交流支援部門」として、何が必要なのか考えていきます。

【医療的ケア及び障がいのある方が医療機関を利用する際の課題について】では、学校視察を皮切りに現状把握から始めています。しかし、命と直結している課題も多く、慎重に議論を進めていかなくてはならないと考えています。

こども部会

こども部会は昨年度の立ち上げから、乳幼児期～学齢期に繋がる切れ目のない支援体制の構築のための協議検討に取り組んできました。平成26年度は、特に学齢期に力を入れ関係各所の協力のもとに部会内でさらに議論していきます。

- 発達障がい児者支援計画の点検・評価
- 児童発達支援地域ネットワークとの連携を検討
- 事例検討、ゲストピーカーによる情報共有、検討
- 「サポートブックかけはし作成講習会」の研修会の開催
- 特別支援教育（エリアネットワーク、通級など）についての検討

～大田区自立支援協議会の構成について～

○協議会委員

次に掲げる区分から、区長が委嘱する委員22人以内で構成。

(1) 地域 (2) 福祉 (3) 保健医療 (4) 学識経験

○専門部会のみ委員

大田区自立支援協議会設置要綱第7条第2項に基づき、会長が指名。

26年度：43人

●全体会

協議会委員で構成。地域の関係者が情報共有・協議する場。各専門部会で協議されたことを共有し、提案された課題について協議し、地域のサービスの基盤整備につなげていく。公開された会議体とし、協議会の活動を広く発信していく。

●運営会議

部会・委員・のみ委員を問わず、希望者が参加。

協議会のあり方、運営方法、各専門部会での検討内容の共有、既存の専門部会に属さない課題等の検討。

●役員会議

協議会会長、副会長、各専門部会長が参加。全体会・専門部会のすすめ方等を調整。

●編集会議

各専門部会の編集委員にて構成。「大田区自立支援協議会だより」を作成し、協議会活動の情報発信を進める。



～わたしたちには、あなたの支援が必要です～

「ヘルプカード（たすけてねカード）」は障がいのある方が困ったときに、手助けを求めるためのものです。わたしの、あなたの、みんなの安心は、まず気にかけること、声をかけることから。

もし、あなたの隣にいる方が「ヘルプカード」を提示したら、カードに書かれた内容に沿って支援をお願いします。



都立城南特別支援学校視察 ～医療的ケアの現状～



日時 平成26年6月20日（金）

参加者 14名 うち部会委員10名
区職員 4名



○医療的ケアの提供は、保護者のレスパイトが目的ではなく、児童・生徒が自立するため、精神的・社会的にも成長するために実施。

○人口呼吸器など濃厚な医療的ケアが必要な児童・生徒については、保護者付添のもと、様子を見ながらじっくり取り組んでいるとのこと。

「大田区発達障がい児・者支援計画」が策定されました!!

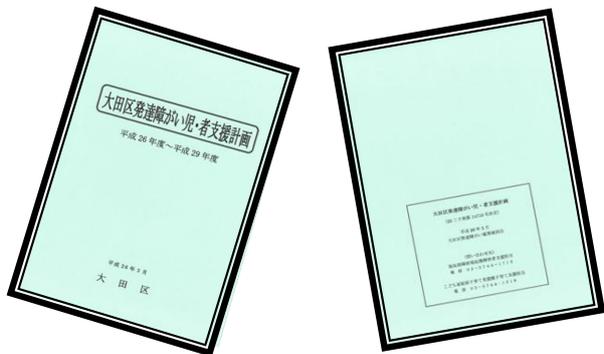
大田区では、発達障がい児・者に対する支援は、乳幼児から大人までの切れ目のない継続的な支援が重要な課題であると考え、施策の検討と推進に力を注いできたところです。

これまで、「発達障がい施策ガイド」、「サポートブックかけはし」、「発達障がいパンフレット」の作成、「発達障がいシンポジウム」の開催等に取り組んでまいりました。

平成26年3月に策定した「大田区発達障がい児・者支援計画」は、①早期発見・早期支援の推進、②ライフステージに応じた切れ目のない支援③地域支援力の向上と人材育成・啓発の促進、④施策を推進する基盤の整備の4つの目標に掲げ、支援施策を着実に推進することで、「発達障がいのある方もない方も、安心して暮らせるまちづくり」を目指します。

目標の実現に向け、発達障がいに関係する皆さんや地域の皆さんとともに全庁を挙げて取り組みを進めてまいります。

【大田区発達障がい児・発達障がい者支援計画】



【編集後記】

命を守り・支え合う地域づくりを目指します。
毎日が防災day！（I）

レイアウト
模索しつつも
テンプレに（T）

相談支援体制の充実に向け、闊達な議論からより良いカタチを目指します（S）

大田区公式ホームページ内に大田区自立支援協議会ページあります♪

「大田区自立支援協議会」で検索!!

<http://www.city.ota.tokyo.jp/>